

# 調査・研修等計画届出書

令和7年11月13日

瀬戸市議会議長 様

議員名 新井 亜由美

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和7年11月25日（1日）	
調査先・研修名	立命館大学森教授の財政の入口セミナー	
会場名（会場所在地）	オンライン	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	立命館大学政策科学部・森裕之教授の財政講座を受講し、議員活動の基礎である財政分析力を高めることを目的とする。	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名		

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和 7年 11月 25日

瀬戸市議会議長 様

議員名 新井 亜由美

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告いたします。

## 記

期 日	令和7年 11月 25日 (1日)
調査先・研修名	立命館大学森教授の財政の入り口セミナー
会場名 (会場所在地)	オンライン
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	立命館大学政策科学部・森裕之教授の財政講座を受講し、議員活動の基礎である財政分析力を高めることを目的とする。
研修で学んだこと・キーワード等 受講後の感想	
<p>1. 研修で学んだこと・キーワード等</p> <p>本研修では、自治体財政を理解する上で「まず全体像をつかむこと」の重要性が強調された。財政は個々の数字を細かく追うことよりも、<b>予算と決算の関係、収入と支出の流れ、財政運営の基本構造</b>を把握することが、議員にとって不可欠であるとの説明があった。</p> <p>&lt;主なキーワード・学び&gt;は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・<b>財政の本質</b>：財政とはルールに基づいたお金の使い方であり、単なる節約ではない</li><li>・<b>予算の重要性</b>：予算は自治体の意思決定そのものであり、「何に力を入れるのか」を示す</li><li>・<b>決算の役割</b>：決算は予算がどのように実行されたかを検証するためのものである</li><li>・<b>決算カード</b>：財政全体を把握するための有効な入口</li><li>・<b>単年度主義と中長期視点</b>：単年度で完結せず、将来への影響を考慮する必要性</li><li>・<b>自治体財政の構造</b>：小規模自治体ほど国の制度や財源構造の影響を受けやすい</li></ul>	

また、「議員の仕事として最も重要なのは予算をつけること」との指摘は、議会の役割を再確認する重要な視点であった。

## 2. 受講後の感想

これまで財政は、専門性が高く難解な分野という印象があったが、本研修を通じて、すべてを理解しようとするのではなく、まず全体像を捉えることが重要であると再認識した。

特に、個別事業の是非だけを議論するのではなく、

- ・財政全体の中での位置づけ
- ・将来世代への影響

を意識することが、議員として求められる姿勢であると強く感じた。

今後は、予算・決算審査において、金額の多い少ないにとらわれるのではなく、自治体財政の構造や流れを踏まえた質疑・検討を行い、市民にとって分かりやすい議論につなげていきたい。

### 調査・研修の成果・考察 (瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

本研修を通じて得た最大の成果は、瀬戸市の施策や個別事業を検討する際に、財政全体の構造や流れを意識して捉える視点を得られたことである。瀬戸市のような規模の自治体においては、国の制度設計や財源構造の影響を強く受ける一方で、限られた財源の中で優先順位を明確にした政策判断が求められる。

今回学んだ、予算と決算を一体的に捉える考え方や、決算カードを活用した全体把握の視点は、瀬戸市の予算・決算審査において大いに活用できるものとする。

特に、個々の事業の必要性を議論する際には、当該事業が財政全体の中でどのような位置づけにあるのか、将来世代への負担や中長期的な財政運営にどのような影響を及ぼすのかを意識することが重要である。こうした視点を持つことで、単なる賛否にとどまらない、より建設的な議論につなげることが可能となる。

また、「財政は難しい」「財政は分かりにくい」という心理的なハードルが下がり、数字のみにとらわれるのではなく、「どこを見るべきか」「何を問うべきか」を、今後は意識し資料が読めるようになりたい。本研修で得た知見を踏まえ、瀬戸市の予算編成段階からのチェックや、決算を次年度以降の政策議論につなげる視点を重視し、議会における審議の質の向上に寄与していきたい。